

令和4年度多文化共生推進事業について

1 「意識の壁」の解消事業（当初予算 1, 142千円）

- (1) 多文化共生シンポジウム開催事業
多文化共生に関する理念の周知・啓発のため、市町村と共催により県内一箇所で開催
- (2) 啓発ツール作成事業
県民等向け多文化共生啓発グッズ（児童向けチラシ・小学校教員向けリーフレット）の作成・配布
- (3) 多文化共生社会推進審議会運営事業
多文化共生社会推進条例に基づき設置する審議会の運営
- (4) 多文化共生市町村研修会事業
市町村職員を対象に多文化共生に関する理解促進と施策推進を図るため研修会を開催

2 「言葉の壁」の解消事業（当初予算 8, 618千円）

- (1) 地域日本語教育体制構築事業【新規】
外国人が地域で充実した生活を送っていくために必要となる地域の日本語教育体制の整備、やさしい日本語普及のための研修会を開催
- (2) 災害時通訳ボランティア整備事業
災害時の通訳ボランティアの募集・登録、養成、派遣に関する事業
- (3) 新型コロナウイルス感染症関連情報の多言語情報発信事業【コロナ対応】
コロナ禍における不安解消を図るため、(公財)宮城県国際化協会のホームページ及び宮城県ホームページの新型コロナウイルス感染症サイトにおいて多言語で情報を発信

3 「生活の壁」の解消事業（当初予算 38, 503千円）

- (1) みやぎ外国人相談センター設置事業
外国県民等やその家族の日常生活の悩み解消を図るため、多言語による相談窓口の設置・運営
- (2) 新型コロナウイルス感染症に関する受診・相談センター及び副反応相談センターの多言語対応【コロナ対応】
県が設置している新型コロナウイルス感染症に関する「受診・相談センター」及び「副反応相談センター」に外国人県民から相談があった場合の多言語相談体制の整備
- (3) 技能実習生等との共生の地域づくり推進事業
市町村等が実施する技能実習生と地域住民との交流会等への講師派遣等
- (4) 外国人コミュニティリーダーとの意見交換
外国人県民が地域で暮らす上で効果的な施策を検討していくため、知事が様々な分野で活躍する外国人県民から直接意見を聞く座談会を実施
- (5) 外国人材マッチング支援事業
県内企業における外国人の受入整備を総合的に支援し、労働力不足の解消やグローバル化の推進に向けてより一層の外国人材の活用を推進するため、企業向けの相談窓口の設置や外国人材の活用に関する企業向けセミナー、合同企業説明会等を実施
- (6) 外国人材高度化転換支援事業【新規】
高度な技術を有し、かつ引き続き宮城県に在留を希望する技能実習生について、県内企業への就労を前提とした特定技能への転換を支援するため、技能実習生や企業の意向調査を実施し、人手不足解消の一助とするもの

4 県民アンケート調査事業（当初予算 5, 213千円）

- (1) 県民アンケート調査事業
次期推進計画の策定を進める上での基礎データとするため、日本人県民及び外国人県民に意識調査を実施